

Miniproject-1

2003年

協同でプログラム制作を行なってもらい発表するという、ミニプロジェクトというものを今年もやることになりました。ミニプロジェクトで制作するものは、「映像や画像が入っており、ユーザからの入力にตอบสนองするアプレットのプログラム」というように限定いたします。あまり負担にならないように進めていくことが大前提となります。次のようにミニプロジェクトは進んでいきます。これらは、主に授業時間外に作業を行なってください。

1. グループを編成し、代表者を定める
2. 制作するものをプログラムとして設計する
3. グループの構成員に対して、役割や担当分担を決める
4. 実際にプログラムを記述していく
5. プログラムを完成させ、完動させ、メンバー誰かのページから見れるようにする
6. 最後の情報処理の演習授業で完成させたものを発表する
7. 構想や、制作経過、プログラムの内容、使い方等をレポートにまとめて提出する

■制作するものを構想する

たとえば、学生がいままで作ってきたものはこんなものがあります。

- ・カレンダー
- ・オセロゲーム
- ・画像を使った紙芝居
- ・駅から駅までの時間（路線を限る）
- ・バスの時刻表
- ・湘南台マップと店紹介
- ・星座占い
- ・星座早見表
- ・もぐらたたきゲーム
- ・相性診断
- ・単位変換

■グループを結成する

同じような構想を持つ人同士がグループを編成します。グループは、次のような方針で決定します。

- ・2人を基本とします。できれば男女混合とします。
- ・どちらか一人が請け負ってやるという形にならないように、同じレベルと思われる人達で集まった方がいいでしょう。
- ・代表者を決めます。どちらか責任感のある人がいいでしょう。

グループの代表者は、今日中に以下のメールを出してください。Webページのタイトルページだけは作ります。

To: 担当者のメールアドレス
Cc: 自分のログイン名
Subject: minipro-1
内容: グループの構成員の名前とログイン名、代表者の名前、Webページのアドレス

グループが決まったら、作るものを確定しましょう。あまり難しそうなものは、考えないようにしましょう。しかし、単純すぎても面白くありません。技術的にどれくらいのことができそうか相談しに来てください。

■ミニプロジェクトのページ

Webページ上では、次のような内容を作成していきましょう。サブページに分けていっても構いません。

- ◇ ミニプロジェクト名、代表者・メンバーの名前
- ◇ 各メンバーの役割分担
- ◇ 画面の進行などの設計
- ◇ いつの時点で何をしたかの記録
- ◇ ミニプロジェクトで作ったものの実行の仕方・使い方マニュアル
- ◇ アプレットの場合は、そこで動かせることができるように
- ◇ その他

■時間はない！

あと、1ヶ月半で作ってもらいます。最後の授業で、発表してもらいます。

■全体の流れ

来週までにすべきことは、以下のようになります

1. まずどんなものを作るか、仕様（何ができるかできないか）を確定しましょう。
2. 画面のイメージを考えてみましょう（教科書の付録Aなどを参考にして配置を考えてください）。今週中に、どのように画面が進行するかの絵コンテを考えてきてください。そして、全体のストーリー（シナリオ）を考えて下さい。
3. とりあえすの担当（役割分担）を決めよう。
4. 画像ファイル、音声ファイルが必要ならばどんなものがよいか列挙してみましょう。画像・音声ファイルに関しては第9講で取り扱います。スレッドを使ってアニメーション化することについては、第12講で取り扱います。
5. サンプルプログラムを書いてみましょう。目的の一部の機能だけが実現されているだけで構いません。
6. 自分のグループのミニプロジェクトのホームページは随時更新しましょう。特に、どちらか一人が継続的に作業記録をつけていきましょう。

■注意

どこかのJavaのプログラムをそのまま持ってきたようなミニプロジェクトは、まったく評価されません。昨年も、それで評価がなくなった学生がいます。

■作業余白

以下にシナリオの図を描きましょう。どのように画面が進行するのか考えてみましょう。